

## エスカレーターの利用に関する実地調査について（案）

## 第 1 目的

エスカレーターの利用状況等を把握するため、都内のエスカレーターにおいて利用者の観測を行う。

## 第 2 調査内容

エスカレーターの「年代別の利用状況」及び「事故につながる可能性があるつまずき等の発生状況」を、人手又はビデオ撮影により観測する。

## 1 調査対象

調査対象は、都内の駅、商業施設に設置されているエスカレーターとする。

場所、運転速度、運転方向が異なる 9 条件、計 21 台のエスカレーターで観測を行う。調査対象の詳細は、表 1 のとおり。

今回の調査では、利用者のつまずき等の観測も行うため、利用者の観測が可能な位置に調査員の配置が可能なエスカレーターを、調査場所として選定する予定である。

なお、東京消防庁管内のエスカレーター関連救急事故は「道路・交通施設（駅、空港、バスターミナル等）」及び「店舗・遊戯施設等（百貨店、ショッピングセンター、スーパー等）」で多く発生していた（資料 1 参照）ため、調査場所は「駅」及び「商業施設」とした。

表 1 調査対象（案）

条件	場所	幅	運転速度 (定格速度)	運転方向	観測台数
1	駅	2 人乗り	分速 40m	上り	各条件 3 台ずつ
2			分速 30m	上り	
3				下り	
4	商業施設	2 人乗り	分速 30m	上り	各条件 2 台ずつ
5				下り	
6			分速 25m	上り	
7				下り	
8			分速 20m	上り	
9				下り	

※同じ施設内で、複数台のエスカレーターを調査する可能性がある。

※観測時間内に、運転速度、運転方向を変更するエスカレーターは対象外とする。

※観測台数変更の可能性について

「分速 40m」及び「分速 25m」で運転されているエスカレーターは少ないと想定され、表 1 に記載している観測台数の調査が難しい可能性がある。このため、観測台数は変更する可能性がある。

## 2 観測時間・調査時期

調査日数は、1台につき1日とし、観測時間は表2のとおりとする。

調査時期は、令和7年11月から令和8年1月の中で、エスカレーターの利用者が比較的多いと想定される日に実施することとする。

表2 観測時間（案）

	駅	商業施設
観測時間	2時間×5回 計10時間	2時間×3回 計6時間
	朝 (午前7時～午前9時頃)	
	昼 (午前11時～午後1時頃)	昼 (午前11時～午後1時頃)
	昼過ぎ (午後1時～午後3時頃)	昼過ぎ (午後1時～午後3時頃)
	夜 (午後5時～午後7時頃)	夜 (午後5時～午後7時頃)
	深夜 (午後10時～午後12時頃)	

※施設の営業時間等により、観測時間をずらす場合や一部時間帯の観測を行わない可能性がある。

## 3 観測範囲・観測方法

観測範囲は、利用者がエスカレーターに乗車してから降車するまでとする。天井等の障害物で調査員が目視できない範囲は対象外とする場合がある。

観測方法は、目視の場合は「乗り口」、「降り口」、「階段部の周辺」等に調査員を配置し、利用者を観測する。エスカレーター周辺の構造等に応じて、調査員の配置場所等は適宜調整する。

観測イメージを図1に示す。

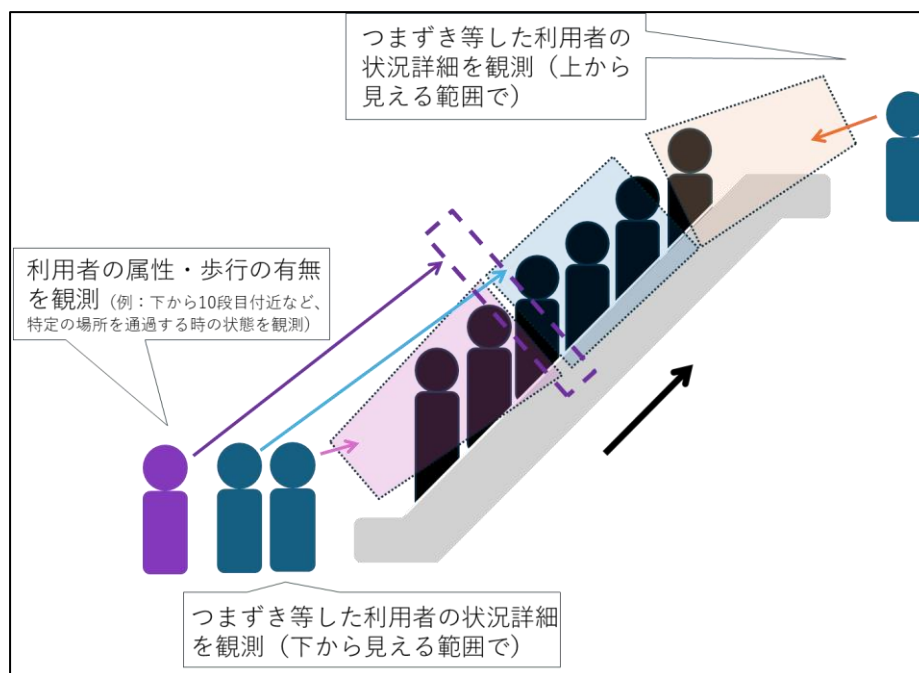


図1 観測イメージ（案）

#### 4 調査項目

調査箇所のエスカレーターの利用者を観測し、次の調査項目についてカウントし、集計する。なお、集計は30分毎とする。

##### (1) 全利用者

「推定年代」及び「歩行等の有無（利用状態）」を、表3に示す区分ごとにカウントする。

表3 全利用者の調査項目区分（案）

推定年代	歩行等の有無（利用状態）
5歳以下 （未就学児）	無（立ち止まって利用）
	有（歩行又は走行して利用）
6～64歳 （小学生以上、高齢者未満）	無（立ち止まって利用）
	有（歩行又は走行して利用）
65歳以上 （高齢者）	無（立ち止まって利用）
	有（歩行又は走行して利用）

##### (2) つまずき等の事象が確認された利用者

事故につながる可能性があると考えられる「つまずき、ふらつき、立ち止まり、衝突」等の事象が確認された利用者をカウントする。また、表4に示す項目（つまずき等の状況の詳細）について、観察できた範囲で記録する。

##### [つまずき等の定義]

- つまずき : エスカレーターの乗降口の段差や踏段の蹴上げ部分等につまずいて、比較的大きくバランスを崩したもの
- ふらつき : エスカレーターの乗降時や乗車中にふらついたり、よろけたりして、比較的大きくバランスを崩したもの
- 立ち止まり : エスカレーターの乗降時にためらうなどして、乗降口付近で立ち止まったもの
- 衝突 : エスカレーターの乗降時及び乗車中に人や物に衝突して、又は衝突されて、比較的大きくバランスを崩したもの
- その他 : 転倒、転落、挟まれ、エスカレーターの緊急停止など

表 4 つまずき等の事象が発生した利用者に関する記録項目（案）（つまずき等の状況の詳細）

時間	発生時間
年齢	推定年代 (5歳以下／6～64歳／65歳以上)
性別	推定性別 (男／女／その他（不明を含む）)
場所	発生場所 (乗り口／曲部（乗り口側）／階段上／曲部（降り口側）／降り口)
	乗車位置 (左側／中央／右側)
事象	事故につながる可能性がある事象 (つまずき／ふらつき／立ち止まり／衝突／その他)
行動、 状況等	事象発生時の行動 (静止中（立ち止まり利用）／乗車中／降車中／姿勢等変更中／歩行中／走行中 など) ※姿勢等変更中＝かがむ、振り返る など
	手すりの使用 (有（掴んでいる）／無（掴んでいない）)
	事象発生時の状況の詳細 (スマートフォン操作中、読書中（新聞・本等）、荷物整理中、会話中、よそ見していた、子供や同伴者の世話をしていた など)
状態等	推定酩酊状態 (酩酊者／非酩酊者（不明を含む）)
	身体不自由 (上肢／下肢 など)
	手荷物等の有無〔キャスター あり／なし※〕 (有・キャスターあり／有・キャスターなし／無) ※キャスターあり：キャリーケース、ショッピングカート等 キャスターなし：ハンドバッグ、手提げ袋等
	歩行補助器の有無〔キャスター あり／なし※〕 (有・キャスターあり／有・キャスターなし／無) ※キャスターあり：シルバーカー、車いす等 キャスターなし：杖、松葉杖等
	ベビーカーの有無 (有・子供乗車あり／有・子供乗車なし〔広げた状態／畳んだ状態〕／無)
	同伴者の世話の有無 (有・子供〔抱っこ／おんぶ／手繋ぎ／その他〕／有・大人〔歩行介助／手繋ぎ／その他〕)／無)
備考	